

(全広連 23-03)
令和 6 年 3 月 13 日

Information

公益社団法人 全日本広告連盟
〒104-0061
中央区銀座 7-4-17(電通銀座ビル 7F)
TEL.03-3569-3566 FAX.03-3572-5733

記者各位

第 12 回「全広連日本宣伝賞」各賞決まる

(公社)全日本広告連盟(大平 明 理事長)は、令和 5 年 12 月 19 日、第 12 回「全広連日本宣伝賞」選考委員会を開き、「松下賞」を磯崎功典氏(キリンホールディングス株式会社 代表取締役社長)、「正力賞」を戸田奈津子氏(映画字幕翻訳者)、「吉田賞」を天野幾雄氏(天野幾雄クリエイティブ・スタジオ Inc. アートディレクター／グラフィックデザイナー)、「山名賞」を故・篠山紀信氏(写真家)にそれぞれ贈賞することを決定した。

各賞は、5 月 15 日開催の「第 72 回全日本広告連盟東京大会」(於・帝国ホテル東京)式典内で贈賞を行う。各賞の受賞者と贈賞理由は下記のとおり。

第 12 回「全広連日本宣伝賞」各賞 受賞者・贈賞理由

■松下賞

磯崎 功典(いそざき よしのり) 氏
キリンホールディングス株式会社 代表取締役社長

慶應義塾大学経済学部 卒業。1977 年キリンビール入社。2004 年サンミゲル社取締役。2012 年キリンビール社長を経て 2015 年よりキリンホールディングス代表取締役社長。2024 年 3 月 28 日より同社・代表取締役会長 CEO に就任予定。CSV 経営を掲げ、食・医・ヘルスサイエンスの 3 領域で世界を舞台にキリングループの変革・価値創造・価値向上を推進した。広告界においても、長年に渡り、ブランディング、商品開発、マーケティング領域などで高い存在感を示すとともに、広告関係者にとって大いに参考となる多数の成功事例を生み出している点が高く評価された。

■正力賞

戸田 奈津子(とだ なつこ) 氏
映画字幕翻訳者

東京都出身。1958 年津田塾大学英文学科卒業。フランシス・フォード・コッポラ監督が来日した際の通訳がきっかけで『地獄の黙示録』の日本語字幕を担当し、以後長年にわたり洋画の字幕翻訳者として活躍。『E.T.』『タイタニック』『ミッション：インポッシブル』をはじめ、数々の映画字幕を担当し、字幕翻訳の第一人者としての地位を確立。年間 50 本もの映画字幕翻訳を長年続けてこられ、日本のエンターテイメント界の発展に大きな貢献をするとともに、数多くの洋画を日本に紹介し、映画ファンを愉しませてくれたことが高く評価された。

■吉田賞

天野 幾雄(あまの いくお)氏

天野幾雄クリエイティブ・スタジオ Inc. アートディレクター／グラフィックデザイナー

東京藝術大学美術学部卒。1966 年(株)資生堂宣伝部入社。宣伝部部長、役員待遇宣伝制作室長を歴任。1998 年に開催された資生堂企業文化展「美と知のミーム、資生堂」展のプロジェクトリーダーを務める。東京アートディレクターズクラブ(ADC)賞、カンヌ国際広告祭金賞、銀賞、日本雑誌広告賞金賞など受賞多数。現在、日本デザイン団体協議会 DOO、ジャパンデザインミュージアム設立研究委員。公益社団法人日本グラフィックデザイン協会(JAGDA)の運営に長年に渡り尽力。また、全広連日本宣伝賞選考委員および山名賞選考準備委員会委員長を 21 年間務めるなど、長年に渡り、次世代の人材育成と広告デザイン界の発展に貢献された。

■山名賞

篠山 紀信(しのやま きしん)氏

写真家

1940 年東京生まれ。日本大学藝術学部写真学科卒業。在学中の 1961 年に広告写真家協会展 APA 賞受賞。広告制作会社ライトパブリシティで活躍し、1968 年よりフリーランスに。1970 年日本写真協会年度賞。1972 年芸術選奨新人賞受賞。1976 年ベネチア・ビエンナーレ国際美術展の日本館の代表作家に選ばれる。1998 年国際写真フェスティバル金賞。2020 年第 68 回菊池寛賞を受賞。2024 年1月ご逝去。三島由紀夫、山口百恵、ジョン・レノンとオノ・ヨーコなどその時代を代表する人物を捉え流行語にもなった「激写」、複数のカメラを統合し一斉にシャッターを切る「シノラマ」など新しい表現方法と新技術で時代を撮り続け、広告・アート領域の発展に多大な貢献をされた。

※「全広連日本宣伝賞」について

公益社団法人全日本広告連盟(全広連)は、日本宣伝クラブが昭和 30 年代から行ってきた、「日本宣伝賞」の顕彰事業を平成 25 年度より継承。必要な再編成を行い、全広連の公益目的事業の一つとして育成、発展を行おうとするもので、広告主(「松下賞」)、媒体社その他のメディア関係会社及びイベントその他のコンテンツのプロデューサー(「正力賞」)、広告関連会社(「吉田賞」)、クリエーター(「山名賞」)それぞれの立場から、広告の社会的使命の促進に係る広告界の向上・発展に尽くし寄与したもの(個人)を、年1回顕彰する。また、「特別賞」として、広告の社会的使命の促進に特別に功労があった、と認められた場合は、上記4賞に加えて個人又は団体を顕彰している。

※当リリースのお問い合わせは事務局・石川(jaf@ad-zenkoren.org)まで。